

NPOトラックス 2019年度活動報告書



認定特定非営利活動法人

トラックス

スポーツを通し、障がい者と健常者が 共に成長できる社会を



トラッソスの理念

- I. 知的 / 発達障がい児・者のサッカーの普及、選手・指導者育成を行います
- II. 知的 / 発達障がい児・者の社会進出に寄与します
- III. 知的 / 発達障がい児・者の精神的自立を支援します



特定非営利活動法人トラッソス
理事長 江木ひかり

ごあいさつ

2019年度は、ようやく New エアスタジアムが完成いたしました。待ちに待った完成です。指導者派遣現場やにっこにこフェスタで大活躍をしてくれています。お子さんも保護者の方もエアスタジアムを見た時は「わ～すぞい」という言葉と共に笑顔を見せてくださいました。

年度末には、コロナウイルス感染症拡大の影響で、活動の休止を余儀なくされました。2020年度も引き続き対策を講じながら、活動をしていきます。週に数回行っているスクールやクラブチームでは、幼児から青年の方までが健康の維持を保ちつつ、自身の居場所として楽しみに通ってきてくれています。今シーズンからチームドクターが加入してくださり、運動の場、余暇の場だからこそ、顕著に現れる心の不安定さをサポートしてくださることになりました。心のサポートを行うことで、より楽しく走り回れる環境を整えています。また、にっこにこフェスタは沢山の方のご参加で、本年から2日間に分けて開催しました。都内に留まらず、青森県や徳島県でも、にっこにこフェスタが開催されました。このようにスポーツを通じて、仲間がどんどん増えています。

ご協力くださる保護者、ボランティアスタッフの皆さん、応援して下さるスポンサー・パートナーの皆さんには心より感謝しております。今後もさらにトラッソスの輪を大きく成長させていくことを楽しみながら活動してまいります。



近隣で行われるスポーツイベントへの参加を諦めてしまったり、遠くてトラッソス・サッカースクールに通えない発達障がい児 / 知的障がい児がいるのであれば、そこに私たちが向かえば問題は解決します。トラッソスは、様々な地域・団体に指導者（コーチ）が出向き、サッカー教室を開催しています。

今年度の事業概要

指導者派遣事業においては、オリンピック・パラリンピックに関する小学校での授業の依頼が増加しました。また、同様に講演会などの講師依頼も増加となりました。

指導者育成においては、初級障がい者スポーツ指導員養成講座の講師依頼が増加し、多数のスポーツ指導員の誕生に寄与することができました。



2019年指導者派遣数
170回

指導者派遣 ～みんなで地球をけつとばせ!!～

2014年より狛江市からの委託として実施している運動療育「みんなで地球をけつとばせ!!」は、月1回のペースで行われています。子ども達はお父さんやお母さんと一緒に、楽しく体を動かしています。また、活動後は親御さん同士の情報交換の場としても使われています。



指導者派遣 ～オリパラ授業～

多摩市教育委員会からの依頼を受け、市内小学校4年生は実技体験、5・6年生は座学で知的・発達障がい児者のスポーツについて学ぶ機会を提供しました。Newエアスタがなぜ必要なのか?でもこれは誰もが楽しめる用具であることなどを伝えました。その結果、児童だけでなく先生方からも好評価をいただきました。



指導者育成 ～知的・発達障がい児者のスポーツ参加を考える～

2019年6月、とくしま発達しあわせネットのご協力により、「知的 / 発達障がい児者のスポーツ参加を考える」を徳島県で開催しました。ワークショップではトラッソスのコーチが、事例や自身の関わり方をテーマにプレゼンテーションを行いました。また、にっここフェスタの審判員でもあるコーチが講師として、審判員の動きとコミュニケーションについて実技講習を担当しました。



来季への展望

事業内容をより明確にするため指導者派遣事業と指導者育成事業を分割させます。指導者派遣事業は、2020年度より新たな派遣先が1箇所加わりました。継続して派遣している地域にはより楽しめる内容を提供し、また行政や自治体に働きかけ、より多くの地域で障害のある子ども達に楽しく運動できる機会を提供したいと思います。また指導者育成事業では、一定の実践的指導力を有する指導者の育成を目的とし、トラッソス独自の指導者育成プログラムを開発し運用する予定です。



知的障害や発達障害があるため、「運動に参加できない」「スポーツが嫌いになってしまう」子どもは少なくありません。NPOトラッソスでは幼児から成人までが共に“笑顔”で楽しむサッカーを通して、「できる楽しさ」「ボールを追いかける楽しさ」を心がけています。

また、子ども達が色々なイベントやアクティビティを通して成長することを目的とし、健常児者との交流大会、サマーキャンプ、クリスマス会、ファミリーサッカーなどを開催しています。

今年度の事業概要

サッカースクール

東京都内で5つ（白鷺・江東・鹿本・中野および豎川）、神奈川県で2つ（藤沢および横浜）のスクールで火曜日～土曜日、毎日楽しく練習しています。[生徒数：74名]

サッカークラブ

サッカークラブは毎週金曜日・土曜日に都内にて行なっています。2019年度の東京都障害者スポーツ大会戦績結果は、トラッソスG：2部優勝、トラッソスS：3部敢闘賞、トラッソスT：3部敢闘賞、トラッソスV：3部3位でした。[選手数：63名]

春キャンプ

スクール生とクラブ選手達が合同で行う活動です。交流を通して、支え合い、認め合いなどが生まれます。その瞬間を大切にしたいと考えています。



合同練習

スクール生とFCトラッソス選手の交流を目的に、年に数回、合同練習が行われます。



ボランティア活動

高等部に在学しているスクール生・クラブ選手が、FC東京のホームゲーム（J1/J3）にボランティアスタッフとして参加しています。



サマーキャンプ

親と離れ、自然の中での集団生活を通し、自立心や協調性を育みます。今年は総勢総勢61名がサマーキャンプに参加しました。



にっこにこフェスタ

チャンピオンリーグ参加予定のFCトラッソスの選手が、コーチや運営スタッフとしてフィールドスターリーグに参加しました。



クリスマス会

毎年恒例のクリスマスサッカー&焼肉バイキングは、サンタさんの来場で大興奮&大盛り上がりでした。



来季への展望

保護者とチームドクターとの連携を強化し、スクール生/クラブ選手の心のサポートに努めます。スクール生やクラブ選手は、進学や就労など環境の変化によってメンタル面が不安定になることが多く見受けられます。保護者と情報を共有して、スクール生/クラブ選手の生活環境や心理面の状態を把握し、また、チームドクターには現場での活動を詳細に伝え、よりの確なケアとサポートが行えるようにします。



トラッソスでは、知的障がい児・者と健常児・者がサッカーを通じた交流の場を設け、相互理解を深めるイベントを開催しています。障害のあるなしに関わらず、プレーヤーとして1つのボールを追いかけます。スポーツだからこそ、言葉で説明する必要はありません。子ども同士、選手同士そして指導者同士が仲良くなり、お互いが理解を深めていく場になっています。

今年度の事業概要

高齢者・障がい者レクリエーション講座

2020年1月開催。この講座は、今年で3回目を迎えました。駒沢オリンピック公園補助競技場でNPO法人日本サッカーOB会と一緒にサッカーを通して交流を深めました。最高齢は89歳、最年少は7歳でした。



FCトラッソスサマーキャンプ

2019年8月開催。サマーキャンプでは、牛久市で活動するUFCジョイアとクレセールとの交流試合を行いました。対戦だけでなく、ごちゃ混ぜチームを作りコーチチームとの対戦も行いました。またサッカーだけでなく、スイカ割りも全員で協力してチャレンジしていました。



ユニファイドサッカー大会

2019年4月開催。第2回目となるユニファイドサッカー大会では、トラッソスの選手やコーチ・サッカー教室の生徒・一般参加など、子どもから大人まで多様なメンバーで構成される混成チームでサッカーを楽しみました。



にっこにこフェスタ

2019年10月・12月開催。今年度より、フィールドスターリーグとチャンピオンリーグを別日程で開催しました。参加者の増加やフィールド環境を踏まえてのことです。様々な年代・学生・企業・団体がボランティアスタッフとして参加し、会場を盛り上げてくれました。



来季への展望

イベントや講習会、ワークショップを通して「知る・関わる・理解する」機会を設けます。場を広げます。また、イベントだけではなく、スクールやクラブの練習を通して他チームと交流を図り、交流をより日常的なものにしたいと思います。障害の有無に関係なくサッカーが好きな仲間が集い、サッカーを通して人と人の繋がりを広げる場を作ります。

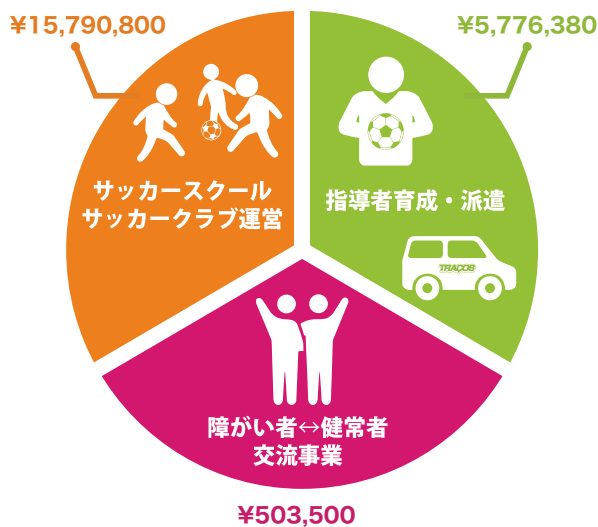
2019 年度会計報告

平成 30 年 12 月 1 日から令和 1 年 11 月 30 日まで



経常収益

事業収益	¥ 21,285,340
内訳	
クラブ事業	¥ 15,790,800
指導者派遣事業	¥ 5,776,380
交流事業	¥ 503,500
寄附金	¥ 3,198,756
助成金	¥ 1,738,242
会費	¥ 607,000
その他	¥ 19,766
合計	¥ 27,634,444



経常費用

人件費	¥ 11,399,124
備品消耗品費	¥ 3,001,878
施設使用料	¥ 1,315,835
旅費交通費	¥ 2,525,611
通信費	¥ 624,066
事務用消耗品費	¥ 302,552
印刷経費	¥ 788,483
支払手数料	¥ 659,494
リース料	¥ 2,002,549
会議費	¥ 380,338
地代家賃	¥ 1,065,325
保険料	¥ 530,764
研修費	¥ 160,873
ボランティア関連費	¥ 620,413
車両費	¥ 971,618
その他経費	¥ 1,756,409
謝礼・水道光熱費・広告 宣伝費・新聞図書費など	
合計	¥ 2,8105,332

活動計算書の詳細は「平成 30 年度 特定非営利活動に係る活動計算書報告書」(PDF)として、ウェブサイトより閲覧頂けます。また、認定特定非営利活動法人としての事業報告書などを、所轄庁である東京都に提出し情報を公開しております。

寄附金の使途

2018 年 11 月、トラッソスでは初めてとなるファンドレイジングを行いました。多くの皆様のご支援により、2019 年 9 月に目標金額 150 万円を達成して、New エアスタジアムを購入することができました。エアスタジアムを始め、皆様から頂いた寄附金はピブスやサッカーボールなどの備品の購入や施設使用料などスクール/クラブを運営するために使われました。



新しい寄附方法の追加について

これまででは銀行振込のみにて寄附を受け付けておりましたが、寄附者への利便性を高めるため、2019 年 12 月よりクレジットカードによる寄附受付を開始致しました。トラッソスが安定した運営を行い活動を継続するためには、トラッソスの活動や理念にご賛同してくださる個人、グループ、企業の皆様の支援が必要です。皆さまのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



ご支援・ご協力を頂いた皆さま



スポンサー企業

スポンサーとしてトラッソスを支援頂いている企業の皆さまから、寄附だけではなく、イベントの共催、広報、ボランティアへの協力等、様々なご支援・ご協力を頂きました。



企業 / 団体ご寄附・ご支援

多くの企業 / 団体の皆さまに、チャリティイベントの開催、ファンドレイジングへのご協力、物品寄附やプロボノなど様々な形でご協力を頂きました。



東都ファーマシーグループ
ライズリゲイン
株式会社アクト・テクニカルサポート
東洋海運通商株式会社

双葉ライン株式会社
株式会社 D&J
リベラル株式会社
東京江戸川東ライオンズクラブ

Morgan McKinley
RGF タレントソリューションズ株式会社
オフィスフォトエイト

個人のご寄附

トラッソスの活動は皆さまからの寄附で支えられています。今年度より、新しい寄附の方法としてクレジットカードによる支払いを利用した「マンスリーサポータープログラム」を開始しました。このプログラムを通し、サポーターの皆さまより毎月継続してご支援を頂いております。



ボランティアによる支援

今年度も学生や社会人の皆様、企業の皆様、国籍を問わず多くの皆様にボランティアとして支援いただきました。



トラッソスの活動は多くのボランティアによって支えられています。多種多様な職種のボランティアの参加により、子ども達や選手はスクールやクラブを通し社会を広げています。



2019年開催のにっこにこフェスタのボランティア参加者数は、438名でした。にっこにこフェスタは、発達障害や知的障害のある子ども / 大人と健常児 / 者の交流の場にもなっています。



認定特定非営利活動法人 **トラックス**

〒132-0021
東京都江戸川区中央 4-20-18 米富ハイツ 1F
TEL/FAX 03-5879-5879
Website: <https://tracos.jp>

